

働く男のライフスタイル情報紙

BizLifeStyle [ビズスタ仙台]

2016 09

特別版

「BizLifeStyle」は東京、神奈川、名古屋、関西、京都・滋賀、仙台、福岡にて55万部発行。下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ申し込みは
TEL.022-716-1711 FAX.022-716-1710
<http://www.dac-group.co.jp>

企画・制作/株式会社デフォーインフォメーション東北支社
〒980-0001 宮城県仙台市東区中央4-27-17 アドニスビル101号
©2016 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



「その直感が、人生を鮮烈にする」 MINIの魅力が最新のショールームで眺めたい。

そのあまりにも独特な世界観によって、まるで独立したカテゴリーのような地位を確立する自動車ブランド「MINI」は、各国のカーメディアを驚かし、特に日本では揺るぎない人気を集めているのは、存じの通りだ。もちろん、東北にも多数のユーザーを抱えており、我々が宮城県内でも正規ディーラーが存在するが、この夏、見逃せないニュースが飛び込んできた。

来たる9月10日(土)、若林区の「MINI青葉」が、仙台バイパス下り車線南へ150mの場所に移転し、「MINI-仙台」として新たにオープンする運びとなった。新拠点は広大な敷地と上質なインテリアを備えたギャラリーとなる模様で、多様な展示車をゆったりと眺めることができるとなると、

「MINI」と言えば、新型「クラブマン」が、RJCカーオブザイヤー・インポート2016「B」を受賞し話題を集める真の最中、約7年ぶりとなる待望のモデルチェンジを果たしたクラブマンは、同社CEOコメントとしては初の4WD車の追加や注目のクリーンディーゼルの搭載、ラグジュアリースペーの拡大やトランクスルーとともに実現された観音開きのスプリットドアの採用など、多彩なトピックを盛り込んでい

今回の移転は、オープン直前に開催された「MINI」の「中道」が、何となく「ササ」を語る魅力が、



車両本体価格 ¥3,440,000^{※1}

※1 表示価格は、MINI Cooper Clubmanの車両本体価格(消費税込)です。オプション装着価格、付属品価格、保険料、税金(消費税を除く)、登録に伴う諸費用、リサイクル料金は含まれておりません。別途必要となります。掲載車両MINI Cooper Clubmanのボディカラー「ビュア・パーガンアイー・メタリック」は別途費用(¥76,000)、シルバールーフ&ミラー・キャップは別途費用(¥25,000)が必要です。





話題沸騰の「MINI CLUBMAN」ももちろん展示 「MINI 仙台」が9月10日(土)グランドオープン



多彩なバリエーションが揃うミニ。公式WEBサイトでコンセプトカーのデザインを眺めると、同社が目指す方向性がよくわかる。



ワンハンドオンリーなのは、外観だけではない。インテリアの独自性も極めて高く、一度目にしたら忘れられないほどのインパクトにあふれる。

1952年に初代モデルが発売されたミニは、多くの自動車メーカーと同様に軒余曲折の歴史を辿り、現在ではプラットフォームが一新されている。2001年にBMWの傘下ブランドとなった頃からサイズが若干拡大され、タイヤが外側ギリギリに張り出したような現在のフォルムが定着した。サイズ感とは裏腹に「走り」も非常にパワフルかつ安定しており、視点が低くハンドリングが軽快

な住宅地が多く、細い路地も通行させるを得ない環境を持つ日本の公道に最適。同じ島国青島というところもあるが、日本では際立った人気を示してきた。

1970年代半ばごろに巻き起こったスーパーカーブームでは、特にイタリア車が憧れを集めた。輸入車が身近になった1990年代前後からは、ドイツ車の存在感が際立った。時代とともに流行は変遷し続けるが、その中で常に独自の立ち位置にいるのが「ミニ」だ。

なぜミニは日本人に愛され続けているのか

「一層軽たらられないセンターコンソールを筆頭に、エアコンのルーバーからドアハンドルに至るまで、目に入るあらゆる要素が内または積円で構成された室内は、ミニのアイデンティティともいえるものだ。そのスポーティな内装は、タイヤの存在感が強い「クスタリア」のデザインもベストマッチ。また、パーツやオプションを含めたカスタマイズの自由度は約1千万通りにも及ぶとされ、まさに「自分だけの一台」を作れるのも魅力だ。

同カテゴリの車種とさえも線を画す独自性から、ミニは「有名買い」が非常に多いという。サイズや走りとともにオーナーたちが口を揃えるのが、これも独特のインテリアの魅力だ。

「一層軽たらられないセンターコンソールを筆頭に、エアコンのルーバーからドアハンドルに至るまで、目に入るあらゆる要素が内または積円で構成された室内は、ミニのアイデンティティともいえるものだ。そのスポーティな内装は、タイヤの存在感が強い「クスタリア」のデザインもベストマッチ。また、パーツやオプションを含めたカスタマイズの自由度は約1千万通りにも及ぶとされ、まさに「自分だけの一台」を作れるのも魅力だ。

まさにベストスタイリングの移転オープン

同じカテゴリに属する車種とさえも明らかなに一線を画す独特の存在感

ビズスタ特典

店頭で「ビズスタを見た」とお声掛けの方に、MINI限定ノベルティグッズをプレゼント。2016年9月30日(金)まで。

MINI 正規ディーラー

MINI 仙台

www.mini.jp

〒984-0823
仙台市若林区通見塚1-18-36
TEL.022-285-9802



MINI仙台(旧MINI青葉)が東北最大級のMINIショールームとして移転オープン!



CAR OF THE YEAR: IMPORT

My Favorite Life Style



9月10日(土)、最新のCIを駆使した新しいBMWショールームがオープン。 噂の「M」を体感する衝撃! 東北初のBMW M 認定ディーラーが誕生

3店舗で市内をバランスよくカバー Sendai BMWの新ショールーム

BMWを濃厚に味わえる「M」試乗車も

東北では唯一となる「BMW M」の認定ディーラー。9月10日オープンするSendai BMW 若林店は、青葉店の機能をそのまま移転しつつ、さらにBMW最新の「コーポレートデザイン」をテーマとした最新のショールームとなる。表紙でも触れた通り、1,300坪という広大な敷地は、BMWのショールームとしては東北でも最大級の規模を誇る。また、立地も魅力的で、特にこれまでなかなか足を伸ばしにくかった仙台南部のユーザーには吉報となるだろう。

店内には、専用の展示スペースが用意されたM仕様のラインを含め、BMW各モデルがスラリと並ぶ。Mモデルの試乗車も用意されるとあって、市内のBMWファンはさっそく色めき立っているが、それと同等の価値を持つと目されるのが、Mモデル専門スタッフたちの存在だ。

BMWを深く知る有識者も常駐

新車の購入検討をサポートしてくれるMセールスコンサルタント、中古車を担当するM BPPSセールスコンサルタント



上質な時間を提供するコンサルティング・ラウンジはオーナー一人ひとりに合わせてきめ細やかなサービスを提供する。



若林店のウェイトニング・ラウンジでは趣向を凝らせたオリジナル商品が数多く揃う。いつまでもオーナーを飽きさせない上質な空間を楽しむことができる。

ント、そしてMサービススペシャリスト。彼らはMモデルに対する専門知識を持つ有識者だ。そのままサーキットに出られそうなハイパフォーマンスマシンだけに、専門的なアドバイスの入手先の確保は必須。同店なら、その場でコンサルティングを受けることができるわけだ。とにかく敷地が広いだけに、一般的なショールームとはひと味違う演出も多数用意されている。たとえば、納車専用エリアは、BMWを所有する喜びを独占的に味わえる場所。特にMモデルが引き連される期間は、忘れられないシーンとなることだろう。また、雰囲気づくりだけでなく、機能面も十分に考慮されている。入庫受付専用エリアはその代表例で、一般の来店客とは線を画したスムーズな動線を提供。さらに、ライフスタイルアクセサリが常備されているので、BMWオーナーとしてのスタイルをコーディネートする場としても使える。

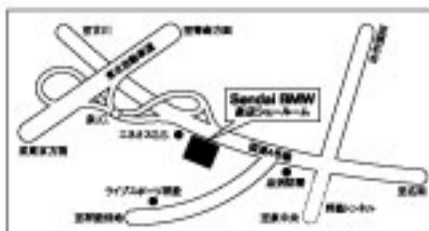
宮城野区の本店、泉店、そして若林店。Sendai BMWの3つのショールームは、市内の各エリアをこれまでに以上にバランスよくカバーすることになる。いまなら特別グッズのプレゼントもあるのだから、ぜひ出かけてみよう。

ビズスタ特典 >>> 店頭で「ビズスタを見た」とお声掛けの方に、BMW限定ノベルティグッズをプレゼント。2016年9月30日(金)まで。

BMW 正規ディーラー
Sendai BMW
<http://www.sendaiBMW.com>



本店ショールーム //
BMW Premium Selection 仙台/サービスフロント
〒983-0013 仙台市宮城野区中野字神明98-1
本店 TEL.022-387-8770
サービスフロント TEL.022-387-8771



泉店ショールーム/サービスフロント
〒981-3131
仙台市泉区七北田字新田121
泉店 TEL.022-371-0318
サービスフロント TEL.022-371-0323



若林店ショールーム/サービスフロント
〒984-0823
仙台市若林区通見塚1-18-37
若林店 TEL.022-766-9917
サービスフロント TEL.022-766-9939

BMW M 認定ディーラー

NEW

9月10日(土)グランドオープン!

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style

[ビズスタ仙台]

2016 09

特別版

「BizLifeStyle」は東京、神奈川、名古屋、関西、
京都・滋賀、仙台、福岡にて55万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ先は
TEL.022-716-1711 FAX.022-716-1710
http://www.dac-group.co.jp企画・制作/株式会社ダイワインフォメーション東北支社
〒980-0001 宮城県仙台市東区中央4-27 アライムスクエアビル1F
©2016 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD

Mの称号。 それは、究極の走りを求める情熱の証。

カーマニアに衝撃走る!「BMW M」の認定ディーラーが、ついに仙台に

仙台市内に3つの新車ショールームと中古車センターを展開中のSendai BMW。長くBMWファンたちに親しまれてきた「青葉店」が、9月10日(土)に移転オープンする運びとなりました。

新たに「若林店」として生まれ変わる同店は、実に1300坪にも及ぶ広大な敷地を有し、東北でも最大級のショールームとなるという。詳しくは中面でご紹介するが、同店の魅力は規模の大きさだけではなく、全国でも限られた「BMW M」の認定ディーラーという肩書きを得たのだ。

BMW Mとは、長くBMWの研究開発などを担ってきたチューニングメーカーのことだ。レース用の車両を手がけていた実績を持ち、一部を除くBMW車でさらにハイパフォーマンスなスポーツ仕様車を展開している。これがいわゆる「Mモデル」だが、BMW Mの認定ディーラーには専用の展示スペースを設置することが許されているため、最新かつ詳細な情報とともにじっくりと実車を比較検討できるわけだ。

若林店でも、ファン垂涎のMモデルが展示される予定だ。たとえば、コンパクトでありながらスバルタンな走りが味わえる「M2クーペ」は、今春に納車が始まったばかりの最新モデル。直列6気筒3リッターのツインターボの圧倒的なパワーを見せつける「M4クーペ」は、人気4シリーズをベースに開発されたプレミアムモデルだ。若林店では、BMW M認定ディーラーとして、Mシリーズの試乗車も用意。雑誌やネットメディアのインプレッションを眺めてはため息をついていた仙台のBMWファンたちも、ついに気分がたのむ。

過去さまざまなブームに沸いた自動車業界にあって、どんなに時代が動いても「世界でも最も豪華な車種」のひとつとして激賞を浴びてきたBMW。そのスタイラスが特に際立つMモデルは、街角で驚きの目を向けられ、視線を一身に浴びる快感を堪能できる。そんな車を身近に感じ、肌で体感できる場点ができることは、仙台市民として何となく嬉しい限り。若林店は、東北唯一の認定ディーラーとなるだけに、「我々は恵まれているのだなあ」と実感するユーザーだ。

BMW M2 Coupé

7速 M DCT Driverlogic 2ドア 右ハンドル

スリル解禁。

限界を挑むパワー。この上ない俊敏性。完璧なコントロール。そのすべてを凝縮させたMモデル史上最もコンパクトな一台、BMW M2 クーペがいよいよデビュー。アクセルを踏んだ瞬間、アドレナリンが沸き立つ極上のスリルを、体感してほしい。



駆けぬける喜び